

仙台稲作情報 2019 (第6号)

宮城県仙台農業改良普及センター TEL: 022-275-8410 FAX: 022-275-0296
<http://www.pref.miyagi.jp/sd-nokai> E-mail: sdnokai@pref.miyagi.lg.jp

管内全体で見ると出穂期は平年よりやや早まり、 登熟は順調に進んでいます。

適期刈取りによる良食味・高品質米の生産に努めましょう！

刈取適期内にあってもできるだけ早めに刈取りましょう。

1. 気象概況

○1ヶ月予報

- ・東北太平洋側では、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。
- ・平均気温は、高い確率50%です。
- ・降水量は、東北太平洋側で平年並または多い確率ともに40%です。
- ・日照時間は、東北太平洋側で平年並または少ない確率ともに40%です。
- ・1週目は、平年並または高い確率ともに40%です。
- ・2週目は、高い確率50%です。
- ・3～4週目は、平年並または高い確率ともに40%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>


【気温】東北地方 


【降水量】東北太平洋側 


【日照時間】東北太平洋側 

凡例:  低い(少ない)  平年並  高い(多い)

<気温経過の各階級の確率(%)>

1週目 東北地方 

2週目 東北地方 

3～4週目 東北地方 

凡例:  低い  平年並  高い

<予報の対象期間>

- 1か月 : 8月31日(土)～ 9月30日(月)
- 1週目 : 8月31日(土)～ 9月 6日(金)
- 2週目 : 9月 7日(土)～ 9月13日(金)
- 3～4週目 : 9月14日(土)～ 9月27日(金)

2. 生育状況

表1 管内生育調査ほ等の出穂期

品種	地帯区分	地域	田植え日	出穂始期	出穂期	穂揃期
ひとめぼれ	仙台湾沿岸	仙台市宮城野区	5月15日	8月1日	8月2日	8月3日
	西部丘陵	仙台市泉区	5月11日	7月30日	8月1日	8月3日
	北部平坦	大郷町鶉崎	5月13日	8月1日	8月2日	8月4日
ササニシキ	仙台湾沿岸	仙台市若林区	5月9日	8月1日	8月2日	8月4日
	北部平坦	大和町鶴巣	5月9日	8月1日	8月3日	8月4日
だて正夢	仙台湾沿岸	仙台市若林区	5月19日	8月6日	8月8日	8月10日
	北部平坦	大郷町土橋	5月16日	8月8日	8月10日	8月13日

○生育調査ほ結果

- ・ 出穂期は「ひとめぼれ」で8月2日（平年並み）, 「ササニシキ」で8月2日（平年並み）, 「だて正夢」で8月9日（昨年比で1日早い）でした。

3. 刈取適期の判定

○出穂後の積算平均気温からみた刈取適期の目安

- ・ 一般的に籾の80~90%程度が完全に成熟して黄色になり、穂軸が先端から3分の1程度黄変したときが成熟期であり、ひとめぼれ、ササニシキではこの時点で概ねコンバイン刈の刈取早限に達する。
- ・ 「ひとめぼれ」では940℃~1,100℃となります。アメダス地点別に、出穂日から見た刈取適期の目安(表2)を参考に、適期刈取りを行いましょう。

※気温が平年よりも高い予報となっております。目安よりも熟期が早まる可能性があります。

- ・ 積算平均気温1,100℃超過（刈遅れ）では、食味・品質が低下するので、刈取適期内にあってもできるだけ早めに刈り取りましよう。
- ・ m²当たり籾数が少ないと刈取適期が早まりますが、籾数が多くなっても刈取晩限があまり遅くならないことに注意ましよう。
- ・ 倒伏したほ場では、穂発芽による品質低下が起きやすいので、刈取早限になったら直ちに収穫ましよう。

表2 出穂期・地帯区分別刈取適期の目安(出穂後の積算平均気温から試算)

地帯区分	各アメダス地点	基準温度	出穂日					
			7/28	7/30 (出穂始期)	8/2 (出穂期)	8/7 (穂揃期)	8/11	8/15
			出穂日後の積算平均気温到達推定日					
仙台湾沿岸	仙 台	940℃	9/2	9/5	9/9	9/15	9/21	9/26
		1,000℃	9/5	9/8	9/12	9/18	9/24	9/29
		1,100℃	9/9	9/13	9/16	9/23	9/29	10/5
北部平坦	大 衡	940℃	9/3	9/7	9/11	9/18	9/23	9/29
		1,000℃	9/6	9/10	9/14	9/21	9/27	10/3
		1,100℃	9/11	9/15	9/19	9/27	10/3	10/9
西部丘陵	白 石 (参考)	940℃	9/4	9/8	9/11	9/18	9/23	9/29
		1,000℃	9/7	9/10	9/14	9/21	9/27	10/2
		1,100℃	9/12	9/15	9/19	9/27	10/2	10/9
	川 渡 (参考)	940℃	9/6	9/9	9/12	9/20	9/25	10/2
		1,000℃	9/9	9/12	9/16	9/23	9/29	10/6
		1,100℃	9/14	9/17	9/21	9/29	10/6	10/13
山間高冷	新 川	940℃	9/6	9/9	9/13	9/21	9/27	10/4
		1,000℃	9/9	9/12	9/16	9/25	10/1	10/8
		1,100℃	9/15	9/18	9/22	10/1	10/8	10/15

- 注1) 気温の積算値は8月31日までは各地点の実測値、9月1日以降はアメダスの平年値を用いた
 2) 出穂期後の積算平均気温到達推定日は、出穂期翌日からの積算平均気温が、940℃、1,000℃、1,100℃を越えた日とした
 3) 本年の県平均出穂期は8/2(平年値8/3)、出穂後40日目は9/11、出穂後45日目は9/16
 4) 県平均刈取盛期は平年値10/1、前年値は10/3

表2の見方 大衡で8/2に出穂したほ場では、9/11~19が刈取適期となると見込まれます。な

お、だて正夢については4.「『だて正夢』の適期刈取り等について」を参照ください。

○籾熟色によるコンバイン収穫期の予測判定

ひとめぼれでは、平均的穂数株(枝梗数8)の中位二次枝梗籾の籾色を観察することにより成熟段階を判定でき、刈取適期を予測できます。

成熟段階Ⅰ：第1位籾が急速に黄化開始(籾黄化判定開始)

成熟段階Ⅱ：第1位籾がほぼ黄化(90%) (7日以内で刈取り早限)

成熟段階Ⅲ：第1位籾が殆ど黄化し(95%)、第2、3位籾が黄化開始(刈取り早限)

成熟段階Ⅳ：第1位籾の黄化100%、第2、3位籾が30%黄化(積算気温1000℃程度)

成熟段階Ⅴ：第2、3位籾が50%以上黄化(刈取り晚限)

刈取適期

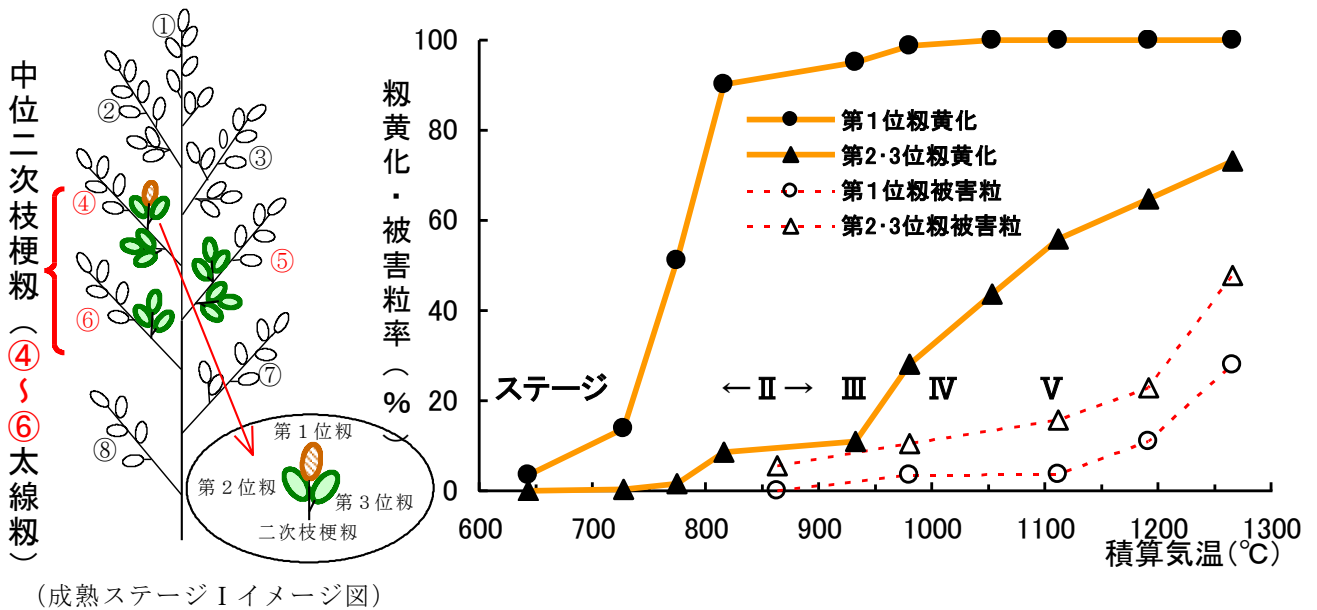


図 積算温度と穂の中位二次枝梗籾黄化率の推移

○収穫作業

- ・降水量が平年よりも多い予報となっております。降雨により、ほ場の条件に恵まれず刈遅れが生じることがないように、適期に達し次第いつでも刈取ができるよう早めに準備を進めましょう。
- ・コンバイン収穫では、籾水分が高いと損傷が多くなるので、籾水分25%以下を目標に刈取作業をしましょう。
- ・今年度作付けしている品種が前年と異なるほ場では、漏生籾(こぼれ籾から発芽した稲)の発生に注意し、異品種混入が懸念されるため、草姿や成熟が明らかに異なる株は、可能な限り抜き取りましょう。
- ・複数の品種の刈取りを行う場合には、品種が替わる際に十分な清掃を行い、機械内における異品種の混入を未然に防ぐよう注意しましょう。
- ・倒伏している場合は、他の稲とは別に「刈分け」を実施し、収穫物に石など異物が混入しないよう注意しましょう。
- ・鉄コーティング直播は特に倒伏しやすいので、刈取適期に達したら早めに収穫しましょう。

○乾燥・調製作業

- ・収穫した生籾を放置すると発熱して変質米の原因になるので、刈取り後速やかに乾燥機に

張り込み送風しましょう。

- ・倒伏した稲や未熟粒の多い稲などを機械乾燥する場合は、二段乾燥(粳水分が18%程度になったら火力乾燥を一時中断し、一定時間通風循環後仕上げ乾燥を行う)を行い、水分ムラや胴割米の発生を抑えましょう。
- ・正確な水分測定のためには、玄米の測定サンプルから未熟粒を取り除いて測定しましょう。また、こまめに水分測定することで過乾燥を防止しましょう。仕上がり玄米水分は14.5%~15.0%が目標です。
- ・粳摺は肌ずれ防止のため、粳の温度を室温まで下げてから行いましょう。また、ロール式粳摺機の場合は、粳(品種)に見合った適正なロール間隔に調整しましょう。
- ・異品種の混入を未然に防ぐため、品種が替わる毎に機械類の清掃を徹底しましょう。

○ 共同施設の利用

大規模共同乾燥調製施設(カントリーエレベーター等)を有する地域では、積極的に活用し、品質の向上と均一化、施設の利用率向上に努めましょう。

4. 「だて正夢」の適期刈取り等について

○ 「だて正夢」の収穫・調製

ポイント

- ・成熟期は「ひとめぼれ」より3~6日程度遅いので、粳の熟色を確認し、出穂期以降の積算平均気温1,020~1,060℃(出穂後50日前後)を目安に収穫する。仙台湾沿岸部では、9/19~21(出穂期8/8の場合)、北部平坦地域では9/23~9/25が目安(出穂期8/9の場合)。
- ・ふるい目1.9mm以上の玄米の割合は「ひとめぼれ」と同程度なので、充実した玄米を確保するため、ふるい目は1.9mmとする。

【まずはワンチェック, ワンアクションで農作業安全】

秋の農作業安全確認運動 ~令和元年9月15日から11月30日まで~